

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩川の里身体障害者福祉会館	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

### 2. 事業実績

利用実績	<p>[講習会・ボランティア育成事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要約筆記入門講習会:全5回 30名</li> </ul> <p>[作業室]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍数:生活介護 24名(定員20名)(令和3年3月31日現在)</li> <li>・食事提供件数:4,131件、入浴サービス:591件</li> </ul>																																							
収支実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">身障会館・作業室全体</th> <th style="text-align: right;">(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><b>収入</b></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">収入</td> <td style="text-align: right;">140,880,814</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">委託料他</td> <td style="text-align: right;">30,290,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">作業収入他</td> <td style="text-align: right;">110,085,643</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">その他</td> <td style="text-align: right;">505,171</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><b>支出</b></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">支出</td> <td style="text-align: right;">107,849,248</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">人件費</td> <td style="text-align: right;">84,912,811</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">事務費</td> <td style="text-align: right;">13,632,518</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">事業費</td> <td style="text-align: right;">9,034,094</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">その他</td> <td style="text-align: right;">269,825</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;"><b>差額</b></td> <td style="text-align: right;"><b>33,031,566</b></td> </tr> </tbody> </table>	身障会館・作業室全体		(円)	<b>収入</b>				収入	140,880,814		委託料他	30,290,000		作業収入他	110,085,643		その他	505,171	<b>支出</b>				支出	107,849,248		人件費	84,912,811		事務費	13,632,518		事業費	9,034,094		その他	269,825		<b>差額</b>	<b>33,031,566</b>
身障会館・作業室全体		(円)																																						
<b>収入</b>																																								
	収入	140,880,814																																						
	委託料他	30,290,000																																						
	作業収入他	110,085,643																																						
	その他	505,171																																						
<b>支出</b>																																								
	支出	107,849,248																																						
	人件費	84,912,811																																						
	事務費	13,632,518																																						
	事業費	9,034,094																																						
	その他	269,825																																						
	<b>差額</b>	<b>33,031,566</b>																																						
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業室では、コロナ禍においても利用者1人につき、年2回機能評価を行い、重度化している利用者の身体機能の維持・向上を図るため、理学療法士の評価を踏まえ、機能訓練のプログラムを重視して行った。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で講習会の開催は減少したが、定員数を減らすなど感染予防を行い開催を実現し、ボランティア養成の取り組みに貢献した。</li> </ul>																																							

### 3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会館では、感染予防を徹底し、通常は他の場所で活動している団体からの利用希望も受け、活動の支援を行った。</li> <li>・作業室では、例年行っている行事を感染症対策を踏まえた形に見直し、実施した。外食を伴う外出は中止としたが、季節に因んだ飾りつけやおやつなどを提供することで、季節感を取り入れ、工夫した。</li> <li>・日課や行事の様子をSNSで発信することで障害者福祉の魅力を伝えている。</li> </ul>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね良好な収支状況である。外部の公認会計士による監査を受けており、指摘事項はなかった。</li> </ul>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業室では、利用者の嚥下状態に合わせて、食形態を対応するとともに、経管栄養となる嚥下状態の方でも、介助方法を工夫して、食事提供することで、食べることの楽しみを損なわないよう、適切なサービス提供を行っている。</li> <li>会館では、地区社協、障害者団体等で構成する運営委員会を開催し、会館運営に関する意見等を伺うなど、利用者意見の反映に向けた取組が組織的に行われている。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修が中止となり、職員が知識や技術を学ぶ機会が失われたため、ネット配信で講義を受講できる研修機関に登録し、職員が自己研鑽できる体制を確保した。</li> <li>ヒヤリハット・事故報告マニュアルの見直しを行った。マニュアルに基づき、事故等が起こった際は報告を行うとともに内容、再発防止策等を職員全員で共有することで、安全・安心への取り組みを行っている。</li> <li>コンプライアンスについて、職員会議などで周知徹底を行っている。また、利用者の権利擁護について、施設長との面接、セルフチェックリスト、内部研修を通じ、職員個々が自身の支援の振り返りを行っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会館の備品等の整理、充実に努め、利用者の利便性の向上を図った。</li> <li>個人情報の取扱いに配慮し、個人情報はずべて鍵付き書庫に保管するなど、適正に管理している。</li> <li>併設されている特養と連携し、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施している。</li> </ul>					

#### 4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

#### 5. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・作業室では、利用者、家族等との面談や電話、日々の連絡帳や送迎時等により、確認した要望を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者個々の障害特性や心身の状態に応じた支援を提供した。  
 ・会館では新型コロナウイルスの影響で講習会の開催は減少したが、定員数を減らすなど感染予防を行い開催を実現し、ボランティア養成の取り組みに貢献した。  
 ・作業室では、コロナ禍においても利用者1人につき、年2回機能評価を行い、重度化している利用者の身体機能の維持・向上を図るため、理学療法士の評価を踏まえ、機能訓練のプログラムを重視して行った。

#### 7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・来年度も引き続き、各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。